

安全・良質・優しいところの医療を、いつでも どこでも 誰にでも

ぬくもり

2010. 4
Vol.19
春号

独立行政法人静岡県立病院機構
静岡県立こころの医療センター

特集内容

- 薬剤室 患者さんへの支援
- 看護師募集
- ボランティア養成講座のご案内

ようこそ！「よろず相談センター」です

「よろず相談センター」をご存知でしょうか？当センターの玄関に入って右側に進んでいただくと事務室があります。皆様には「医療相談センター」がなじみが深いかもしれません。平成21年度に名称が変わりました。「よろず相談センター」では精神保健福祉士を中心に皆様安心して十分な治療を受けられるようお手伝いをします。

どんなことが相談できるのか、と言いますと〔各種制度について〕・〔どこか通える場所を探したい〕・〔住まいについて〕・〔生活について〕・〔仕事について〕・〔受診に関すること〕・〔その他どこに相談してよいかわからない悩み〕など、まさによろず相談です。例えば、「入院費用がどれくらいかかるのか？」「医療費が安くなる制度はないか？」「障害年金を受給したい」「退院後の住居がない」「精神科に受診したい」などのご相談があります。

私たちはそれぞれの相談について本人の立場に立って、本人の意思をできるだけ尊重したいと考えています。入院から退院、そして地域での生活を共に支えていくことができれば、と日々考えながら活動しています。入院中にかかわった方が退院され地域で元気に暮らしている時、外来に来た時に「元気にやっているよ」と顔を出してくれる時、「障害年金が受けられるようになりましたよ」などと報告してくれた時は、本当に嬉しくなります。

玄関から入って右側。「よろず相談センター」をどうぞご利用ください。相談については、予約制になっていますので、事前に予約をお願いします。スタッフ一同お待ちしております。



精神保健福祉士
荒田真理子

患者さんへの支援—薬剤室より—

チームの一員
として



チーム医療に参加します

病院では様々な職種の医療スタッフが働いています。お互いの職種が特徴を活かし、意見を交換しながら、連携していくことで患者さんにより良い医療の提供を行うことができます。

医療安全、NST（栄養サポートチーム）や褥瘡チームなどの一員として各部署のラウンドも行っています。

さらに、当院における多くのプロジェクトチームにも参加しています。

勉強会を開催します

病院スタッフに向けての情報提供も大事なお仕事です。新薬の情報や「病気とお薬の関係」など、精神科だけでなく他の診療科のお薬についても勉強会を開催しています。

また、患者さんに向けて「お薬教室」も行います。



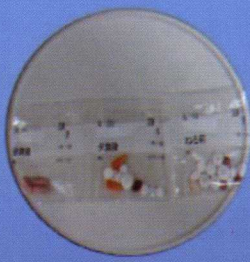
薬剤室で

お薬を調剤します



1. 薬歴を確認します

「今までどんなお薬をのんでいたか」、「お薬の用法・用量が適正か」を確認します。



2. 調剤します

お薬は、1回分ずつに包装調剤します（一包化）。一包化により、お薬の飲み間違いや飲み忘れを防ぎます。



3. 監査をします

調剤したお薬をもう1人の薬剤師が確認をします。錠剤が正しいか、粉薬にバラつきはないか、など注意深くチェックします。



注射薬を個人別に 1回分毎にセットします

注射薬は、1回分ごとにセットで、注射薬を混合する時の取ります。

この取り組みは、当センターの高い医療の提供に貢献した「革・改善推進制度」で最優秀しました。



患者さんにお薬の説明をします

お薬について、患者さんや患者さんを支えるご家族、施設スタッフの方々とお話をします。

- ・今までのお薬の飲み方、アレルギーなどの確認
- ・今のお薬について
- ・病気の症状とお薬との関係
- ・副作用
- ・頓服薬（不安時、不眠時など）の使い方などについてお話ししながら、お薬を飲むことの重要性を一緒に学びます。

患者さんと一緒にお薬をセットします

お薬を続けて飲むことは病気の再発予防につながります。

では、「続けて飲むためにはどうしたらよいか?」、飲むための工夫も一緒に考えます。箱（1日分、1週間分）やカレンダー型も活用して自分に合った方法を見つけ練習します。



病棟のお薬を管理します



お薬の種類や数量、保管方法等について、病棟スタッフへアドバイスします。さらに、有効期限をチェックして、緊急に使用する際に困らないようにします。

入院時に持参されたお薬を確認します

入院前に飲んでいたお薬を持参してもらい、全て薬剤師が確認をします。

入院前にどんなお薬をどのように飲んでいただかを、病院スタッフが正確に把握することは、入院後の治療にとっても大事です。

ます

トすること
の違えを防

において質
として「改
賞を受賞し



患者さんを中心としたチーム医療において、薬物療法を有効に、より安全に行えるよう薬剤室が関与している点を紹介しました。

今後、外来患者さんやご家族への支援も、他職種スタッフと協力して行っていきたいと思います。

薬剤室も患者さんと共に一歩一歩進んでいきたいと思っています。

看護師さんを募集しています

司法病棟の増床に伴って、看護師さんを大募集しています。精神科は初めてという方から、司法看護に興味のある方まで。是非、私たちと一緒にこころの医療センターで働きませんか？

病院見学会も随時開催しています。お気軽にお問い合わせください。



054-271-1135 看護部

改革改善推進制度表彰式



当センターの効率的な病院経営、質の高い医療の提供・サービスの向上の推進に貢献したとして、7チームが院内表彰を受けました。

今年度もボランティア養成講座を開催します。内容は、精神保健福祉ボランティアに関する講義、体験学習、グループ討議です。6月3日(木)～17日(木)の間で3日程度。定員は先着30名となっています。申込は、住所・氏名・年齢・電話番号を電話、ファックス、Eメールで。

診療のご案内

一般外来

外来受付 午前8時30分～午前11時(予約制)
 診療日 月曜日から金曜日まで
 休診日 土曜日・日曜日・祝祭日・年末年始
 診療科 精神科
 その他当センターを利用する方々の為の内科・外科・歯科外来があります。

専門外来

老年期こころと物忘れ外来 <60歳以上の方>
 老年期のこころの悩みや物忘れなど、老年期特有のこころの専門外来です。

◆現在、他の医療機関に通院されている方は紹介状をお持ちください。

◆一般外来・専門外来とも、全て予約制となっています。予めお電話でご予約下さい。

予約受付日：月曜日～金曜日
 (祝祭日を除く)

予約受付時間：午前9時～午後4時
 受付先：よろず相談スタッフ
 電話：054(271)1166

外来担当表

診察室	月	火	水	木	金
第1	村上直	平田	中泉	村上直	中泉
第2		五條	渡邊	中村	中村
第3	阿部	大橋	阿部	大橋	五條
第4	新患	新患	新患	新患	新患
第5	新患	新患	新患	新患	新患
第6	梶塚	梶塚	村上牧	齋藤	村上牧
第7	玉光	玉光	仲田	仲田	

病院周辺図及び交通のご案内



交通のご案内

バス/美和大谷線 静岡駅より約25分
 (静岡駅前6番のりば 美和、足久保団地方面行き秋山町下車、徒歩5分)

くるま/静岡駅より約15分

地方独立行政法人 静岡県立病院機構
静岡県立こころの医療センター

(財)日本医療機能評価機構認定病院
 〒420-0949 静岡市葵区一-4丁目1-1
 電話：054-271-1135 (代表)
 F A X：054-251-6584
 E-mail：hpkokoro@mail.wbs.ne.jp
 URL：http://www.shizuoka-pho.jp/kokoro/